



和以輪為 会津

ーわいわい あいづー

ボーイスカウト会津地区広報誌 第48号



「和をもって貴しとなす」(以和為貴)の一字を変えて「みんなで輪をもって仲良く進む」

会津地区

5月3日 会津若松市の子どもまつりに会津地区ボーイスカウトも参加しました。

300人分ネッカチーフを用意し、受付した人に配りました。



ゲームは3種 箱の中身を当てる 水中おはじきおとし 箱の口に皿を投げ込む
工作はペットボトルキャップで笛を作りました。



大勢人がきて大盛況でしたが、欲張りすぎてお手伝いが足りず混乱しました。

会津若松1団 活動報告

3月10日カブ隊集会《竹細工》

・今回は「刃物の使い方」を竹細工で実践しました。箸、コップ、皿などなど思い思いの生活用具を作りました。道具は便利な反面、危険であることを学んでくれたと思います。



3月14日ビーバー隊集会《ハイキング》

・雪のある寒い中、博物館駐車場から鶴ヶ城



へのミニハイキング。チェックポイントでのクイズや紙コップの装飾工作など保護者の方と一緒に楽しく元気に活動することができました。

3月24日カブ隊集会《むかしあそび》

・昔の子供たちが、遊びの道具がなくても身近な物を活用して、自分たちで道具を作りルールも作って愉しく遊んでいたことを体験してもらいました。新しい仲間も参加して仲よく遊んでくれました。



4月14日ビーバー隊集会《ビーバーダムをつくろう!》

・スカウト1名に体験入隊者2名は協力してビーバーダムを作り、後半には、ビーバーダムが崩壊したため、スカウトたちのアイデアで船に改造したり、水の中に見立てたブルーシートの上で泳いだり、それぞれ想像力を働かせて仲良く元気に遊ぶことができました。



4月14日カブ隊集会《防災スキルを身に付けよう!》

・防災スキルをテーマに、身近な物で「減災グッズ」を作ってみました。新聞紙、ゴミ袋、アルミホイル、ロープ、ペットボトルなどを利用して、簡易カップ、クッション、シャワー、バケツ、ハンガー、コップ、フライパンなどなど・・・カブスカウト年代でもできる「もしもの時の知恵」を体験しました。災害が多い昨今、必要な意識付けかと思いません。満開の桜の中、心地よく楽しい集会でした。



4月28日入隊式

・今年度の当団「上進式・入隊式」を行いました。上進者、入隊者それぞれに緊張した面持ちでセレモニーに臨み青き新しきスカウトの誕生です。

新しい仲間とも仲良く元気に活動してくださいね😊



5月19日合同隊集会《山菜採り》

・会津美里町をフィールドにワラビ、ウド、タラの芽、エラ、フキ、ミズ・・・等々「そんなに食べるの？」というぐらい夢中になって採っていました。午後は野菜の苗植え体験。気温はかなり高めの前想でしたが、比較的穏やかで事故なく皆大満足の集会でした。



5月19日 ボーイ隊集会

ボーイ隊は隊集会を持ち、グリーンバー役務の確認、班のあり方、隊形等の確認、手旗・ロープの基本訓練を行いました。

今まで、班長1人での集会であったので、久々の複数での訓練ができ、互いに声をかけながら切磋琢磨し訓練に打ち込むことができました。

猪苗代第1団 活動報告

4月14日 上進・入隊式を行いました。

カブ隊、ボーイ隊にそれぞれ1名が上進し、「やくそく」「ちかい」をたて、隊長から新しいネッカチーフの伝達がありました。

また、昨年の世界ジャンボリー参加スカウトから、報告会をしてもらいました。今年はアグーナリーもあることから、育成会一致団結して取り組んで行く事を確認しました。



6月26日 カブ隊集会

カブ隊は隊集会を持ち、Y Bとしての役務の確認、組のあり方、「やくそく」「さだめ」の確認の後、亀ヶ城ハイキングに行きまし

た。新組長も組員の面倒を見て、元気にハイキングに行きました。途中、隊長からの様々なミッションをこなし、また新たな学びをしながら行いました。



・5月26日(日) 2級挑戦ハイキング

ボーイ隊の2人のスカウトの2級挑戦の仕上げとなるハイキングを行いました。あらかじめ、地図とコンパスなどのスカウト技能をおさらいしておくように隊長から指示をしておきました。当日は、最初に地図と課題が渡され、課題内容の確認とルート設定をし、隊長から出発許可を得てスタートしました。



美里1団 活動報告

・5月19日(日) わくわく自然体験

この日、会津美里第1団では、日本連盟が全国展開している「わくわく自然体験」を開催しました。会津美里町内の小学1～3年生にチラシを配付したところ、小学1年生と年長1名の計3名の参加申込がありました。まさにビーバ一年代です。

活動としては、白鳳山公園で探検ということで、ビンゴ形式の自然探しを行い、見つけたらシールをもらって、台紙に貼り付けていきました。とい条件にしたことから、参加申込が鈍かった可能性はありますが、今後も継続して体験活動を開催していく予定です。

途中、スカウトペースで進む区間があったり、清水副長が上腕をケガした(架空)ので応急手当をしたり、スカウトスキルを発揮できる場面をつくりました。

スカウトスキルは単に覚えればいいのではなく、実際に使えることが重要であり、それが「出来た」ことでスカウトはすごく自信になったことと思います。

スカウトの成長を見ることができたハイキングでした。

会津若松2団 活動報告

5月19日 ヒカリスカウト合同体験集会
9時大町中央公園集合 本光寺の秘宝を探せ
体験集会に参加したいと来た子供や、公園で遊んでいた子供も併せて班を作りました。



・5月27日(月) 班集会

この日は、夜に公民館で、前日にやった2級挑戦ハイキングの報告書を作成しました。前日にハイキングの際、途中の時間や取り組んだ課題、途中気付いたこと等々をメモしておくように言っておいたので、それを元に報告書作りに取り組みました。完成後は隊長に提出し、ひとまず、これで2級章の進級課目は修了となりました。

ハイキング報告書は、「同行していないリーダーが読んだ時に、どういうハイキングだったのかイメージできるもの」という条件を付けました。スカウトは自分なりに考えて作成していました。仕上がった報告書を見て、いくつかコメントをしたところ、スカウトにもいろいろ気付きがあったようで、またやりたいかと尋ねたところ、別のルートでやりたい、との声が出たので、さらなるスキルアップを目指させようと思いました。



指令所を渡し、答え探し。親鸞聖人の前にある小箱を答えの数で空けました。次の指令が出てきました。公園のあちこちに隠してある宝のありかを写した写真を探しました。宝を見つけると中にはおはじきがありました。会館の入り口にある台におはじきをのせると重みでトイレットペーパーが破れ風船が落ちてきました。今度は風船を割ると、地図のかけらが出てきました。それを合わせ水にぬらすと、最後の指令が出てきました。



最後の指令は

「ヒカリスカウトの一番えらい人を探せ」
団委員長よりご褒美のお菓子を貰えました。



2024年(令和6年)6月30日 第48号

発行：ボーイスカウト福島連盟会津地区 http://www.geocities.jp/boyscout_aizu/top.html
会津若松市西七日町 8-31 田沢豊彦 内 TEL0242-24-6316

発行責任者 沖井玲爾(総務委員)